

竹内さんの思い出

亀井 賢太郎

竹内さんと初めて出会ったのは、僕があさやけ作業所に入った時からです。今から約25年位前の事です。その時感じた印象は、竹内さんってすごくバイタリティーがある人だなと思いました。僕も竹内さんのように、見習ってやろうと思いましたが、なかなかうまく出来ませんでした。改めて竹内さんの存在は、大きい人だなと感じました。

まだまだやりたい事・行きたい所・食べたい物沢山あったはず。それを思うと残念でたまりません。でも桃ちゃんだから、すでに天国で色々な所に行ったり、美味しい物好きなだけ食べているでしょうね。本当に長い間有り難うございました。



桃子さんへ

藤巻 聡美

今年は桜からすずらんもみんな咲くのが早く感じました。桃子さんまさか、こんなに早く逝ってしまうなんてまるで今年の春の花ようですね……。

追悼特集

竹内さんの 思い出



短 歌

一、歌作りは心の中の花火の如く
打ち上げるまで苦勞する

一、画用紙に絵の具をぱあっと散りばめて
色とりどりの面白人生

竹内
桃子



とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班

〒187-0033 小平市川島町3-8

TEL 042(349)2366

toutasu@asayake.or.jp

<http://www.asayake.or.jp/kaze.html>

No.311
2018年7月20日

天国の桃ちゃんへ

柳原 昭三

天国はどんなところ？

お父さんと会って生活を満喫しているのかな？でも、お父さんから、ここに来るのがまだ早かったねと怒られているのでは？

あさやけ風の作業所に異動してきて、15年間。仕事している席から右を向けばいつも桃ちゃんの写真が見られたのに、今は、桃ちゃんの写真だけになってしまいました。でも、とうたすのみんなの心の中には、きっと桃ちゃん存在がずうっと生きて続けていくでしょう。

桃ちゃんおはよう。僕は、前と同じように、写真に会いさつして、朝が始まります。

桃ちゃんがいなくなったことで、とうたす通信でも、どれだけ桃ちゃんの力が発揮された場か、大切な人だったかはいなくなってつくづく感じています。

天国でも、桃ちゃんの一筋な所を全開にして、みんなを困らせて自分の道を進んで下さい。

これからもとうたすのことを天国から見て、意見を発信続けて下さい。

じゃあね。いつかまた会いましょう。

桃子さんとの思い出

川上 真澄

随分、昔のことですが、若い頃、同世代の仲間として何度か、我が家で飲み会をしていた事を思い出します。今で言う女子会？数人でわいわいがやがや。ストローで水割りをぐいぐいと飲む、桃子さんの飲みっぷりに驚きました。脳性麻痺の緊張が、お酒で緩和され、調子が良くなるとの話が印象的でした。また、誕生会に呼ばれた際に、日頃は中々、聞き取りづらい桃子さんの言葉ですが、「お母さん、誰か来たよ」と、はっきり大きな声で知らせる姿に日常力を知った出来事でした。「さだまさし」ファンの私達は、何度か一緒にコンサートへも出かけました。歌好きな桃子さん「こげら合唱団」での活動も楽しんでいましたね。車イス制作にも、よく一緒に関わりました。自分の体の変化や変調に、時折は落ち込みながらも、常に前向きに、やりたい事がいっぱいだった桃子さん。体調のコントロールが上手いかず、入退院を繰り返した時期もありましたが、見事に復活し、海外旅行にも沢山の楽しみ、パワフル全開、青春を謳歌してきた桃子さん。心よりご冥福を、お祈りします。